

2022年9月20日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

東急文化村との指定管理者初タッグ「セッション杉並」受託

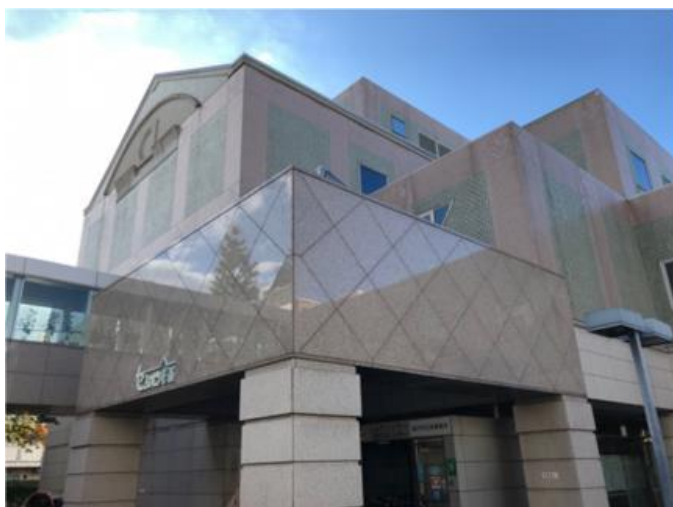
グループ企業や地元企業との連携による、より上質なサービス・品質を提供

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：木村昌平）は、このたび株式会社東急文化村（本社：東京都渋谷区、社長：中野哲夫）および協和産業株式会社（本社：東京都杉並区、社長：福島宏樹）と連携し、東京都杉並区「杉並区立社会教育センター及び高円寺地域区民センター複合施設（愛称：セッション杉並）」の指定管理者業務を受託いたしましたので、お知らせいたします。

■ セッション杉並について

セッション杉並は、平成元年に開設された杉並区立社会教育センター及び高円寺地域区民センター複合施設の愛称です。施設内には503名を収容するホールのほか、集会室、和室、展示室、体育室などの施設を有し、区民から広く利用されてきました。

築30年以上が経過し、2021年12月から大規模改修を実施。改修後の施設の管理・運営は民間の持つノウハウによる効率的な運用・サービス向上を目的に指定管理者制度を導入することになり、応募の8団体の中から、東急コミュニティー・東急文化村・協和産業共同事業体が指定管理者に選定されました。



セッション杉並外観（現在改修中）



内観（イメージ）

■ 受注までの経緯

指定管理者への応募にあたり、杉並区の地元企業である協和産業株式会社と、東急グループで文化事業を担う株式会社東急文化村と共同事業体を組成しました。東急文化村とは指定管理案件で初のグループ内タッグを組む形となります。当社が独自に培ってきた施設の運営管理ノウハウを基盤に、グループシナジーや各社リソースを活かし、より高品質なサービス提供を追求します。「セッション杉並」管理・運営を通じて高円寺エリアの地域コミュニティを形成し、文化芸術の発展に寄与してまいります。

〈施設概要〉

名称：杉並区立社会教育センター及び高円寺地域区民センター複合施設（愛称：セシオン杉並）
所在地：東京都杉並区梅里一丁目 22 番 32 号
用途：集会室、ホール等
延床面積：8,006.23 ㎡
竣工：1989 年
JV 名：東急コミュニティー・東急文化村・協和産業共同事業体
指定管理者期間：2023 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日（5 年間）

■株式会社東急コミュニティー概要

会社名：株式会社東急コミュニティー
所在地：東京都世田谷区用賀四丁目 10 番 1 号 世田谷ビジネススクエアタワー
設立：1970 年 4 月
代表者：代表取締役社長 木村 昌平

東急コミュニティーは全国でマンション管理、ビル・施設マネジメント、公共施設管理運営を行う総合不動産管理会社です。行政施設（指定管理者・PFI 等）において、ホールなどの文化施設・スタジアムなどのスポーツ施設や、空港関連施設等様々な用途の運営・維持管理実績もございます。

総合不動産管理会社としての管理実績を基盤に専門性を活かしたサービス提供を行い、良質なストックの形成を通じて、お客様の生活環境と資産価値向上に貢献してまいります。

■株式会社東急文化村概要

会社名：株式会社東急文化村
所在地：東京都渋谷区道玄坂 2 丁目 24 番 1 号
設立：1988 年 11 月
代表者：代表取締役社長 中野 哲夫

東急文化村は東急グループが手掛ける文化事業の中心として、大型複合文化施設「Bunkamura」やミュージカル劇場「東急シアターオーブ」等を運営しています。

東急文化村が文化芸術のまち“渋谷”で培った知見により杉並区の文化芸術の発展を目指します。

■協和産業株式会社概要

会社名：協和産業株式会社
所在地：東京都杉並区上井草 2 丁目 20 番 12 号
設立：1974 年 3 月
代表者：代表取締役社長 福島 宏樹

協和産業は杉並区で創業して来期で 50 期目をむかえます。主力事業である官公庁の建物総合管理を中心として、オフィスビルや商業施設の維持管理のほか、学校や公園等での緑化・植栽事業を展開しています。

地域連携による細やかなサービスを強みに、快適環境の創造を通して地域の発展に寄与してまいります。